

大猫平より「新雪の剣岳北面」

冬山情報 2 11 / 24

いよいよ、待望の剣岳の新しい展望台「大猫山」へ行くことにした。
気になっていた天気がなんとか、11/24まで続いたので、予定どおり出発できた。
剣岳の西面を撮影するので、時間はかえて、ゆっくり行ったほうがよさそうだ。
池ノ谷を中心とした、小窓尾根と早月尾根にはさまれた谷は、朝はまったく光がささない。
今日は、久しぶりにゆっくりした行程になりそうだ。

今日の日程

自宅〔滑川IC〕 7:30 - みのわ温泉 7:45 - 伊折橋 8:00 - 馬場島 8:30 - 登山口 8:45
- 1500mの展望台 10:30 - 大猫平 12:00 - 馬場島 14:00 - みのわ温泉 14:30

長く続いた快晴の天気もいよいよ今日でおしまいかな?毛勝三山も剣岳も、気候がややあたたかいせいか、もやがかかっている。しかし、馬場島までくると、さすが気温も低くなり、「剣岳」がしっかりと見えてきた。



ほとんど、登山者に会うことはないと思ったが、突然下山の方に出会った。
昨日は、上の方でテント泊らしい。さすがの人だ。大変よく登っているらしく、話がはずんでしまった。30分も。

まあ今日はゆっくりだから、いいか。



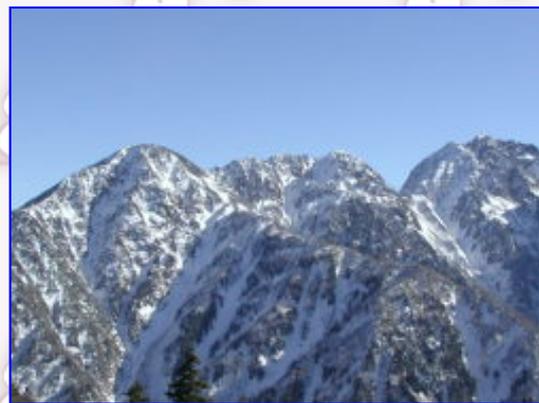
「大猫新道」の尾根からも充分「剣岳」は見えだが。
見晴らしのよい稜線につくと、ますますすばらしい展望地になってきた。
・・・もうこの地点1500mの三角点でも撮影は可能だ。



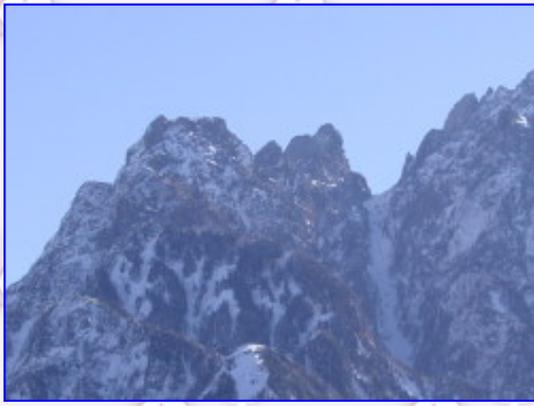
いよいよ「大猫平」に到着。目の前の「剣岳」を独り占めだ。
この方向から「剣岳」の写真は長年の「夢」だった。「細蔵山」へのアクセスも大変なので、実現はできなかった。



赤谷山も赤谷尾根もご覧のとおり、手に取るようだ。来年必ず実現させたい、大窓から「仙人池ヒュッテ」までの
通過点として考えている大窓から池の平山も大きく見える。



マッチ箱のピーク、三の窓が本当に近く感じる。すばらしい、絶景だ。
やはりこうして見ると、本峰付近はなだらかな方なんだ。おだやかな日差しの中、剣岳は輝いている。



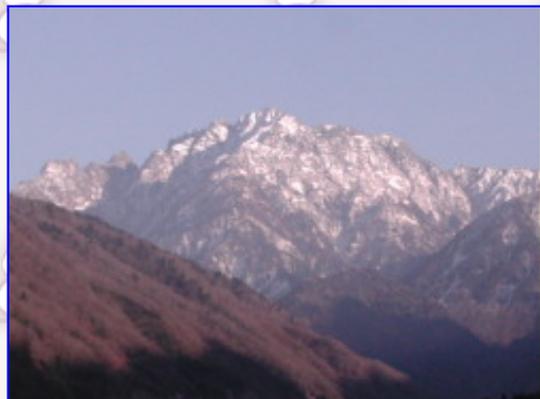
「大猫平」はもう雪が深く、かんじきを車に置いてきたので、無理と判断して、ここから戻ることにした。何回見てもあきたりない景色だが、「池ノ谷」「毛勝谷」に光がかかかるとのを待つつもりで、本当にゆっくり下った。



「大猫新道」の稜線のと尾根の途中でようやく、「小窓尾根」の下、谷まで少しだが光が差し込んだ。ようやく陰影がついて、「剣岳」の壁を撮影することができた。



登山口の取り入れ口付近の鉄橋が冬は取り除かれる。 代わりに、仮設の橋がかかっていた。最後の写真はたくさんの方で賑わう「伊折の橋」からの剣岳



招待作品 「樋口」さん・・・〔剣岳 暮れゆく〕 〔小春日和
の剣岳〕

